

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 不定愁訴を伴うTMDの加療報告

演者名 園木 誠

日 付 2012年07月24日

keywords

1. 顎関節症Ⅳ型
2. 咀嚼筋
3. 顎関節
4. 歯牙の3要素
5. 矯正

抄 録

歯科治療は歯牙の切削やインプラント埋入や矯正など常に修正のきかない不可逆的要素を含み、治療に於いて顎位の臨床的診断が最重要項目である。その顎位が生体の許容されたものであるものなのか、また異常で不調和の原因となりうるものなのかの診断がきわめて重要で、さらに顎位の修正が可能であれば治療に於いて最優先されるべきものである。

今回、不定愁訴を有する患者(30歳代・女性)を診断しSPLINT・矯正治療にて症状の緩解を得た症例を提示し、諸先生方のご意見やご指導を賜りたく存じます。